

いで湯と城と文学のまち 四国・松山

道後温泉本館

国指定重要文化財

2024年7月11日全館営業再開

残したい日本の音風景100選
美しい日本の歴史的風土100選

道後を 巡ろう

日本最古の湯といわれる道後温泉。古くは聖徳太子が来浴し、斉明天皇も行幸された歴史があります。また夏目漱石をはじめとする文人墨客が来遊した湯のまちには、長い歴史を感じさせてくれる多くの見どころが点在しています。



道後公園(湯築城跡)



戦国時代、この地を治めていた河野氏の居住跡を整備した憩いの公園。復元された武家屋敷や資料館もあり。

子規記念博物館



松山市出身の文学者・正岡子規の偉業をはじめ、明治時代の松山や文学について紹介したミュージアム。

湯のまちで、パワースポットを巡る

道後のまちには、結びつける、復活させる、守る、そんなパワースポットが点在。



1 圓滿寺

江戸時代、道後の湯が止まった際に、ここに祈願することで湯が復活したという逸話が残っている。現在は開運アイテムのお結び玉が人気。



2 伊佐爾波神社

1967年に国の重要文化財に指定された「日本三大八幡造り」に数えられている寺院。縁結びのご利益により、人々から信仰を集めている。



3 湯神社・中嶋神社

道後温泉に縁の深い大国主命と少彦名命が祀られた湯神社は、海運や縁結び祈願で人気をよんでいる。境内にはお菓子の神様である中嶋神社も。



4 湯釜薬師

明治27年頃まで道後温泉本館で実際に使われていた湯釜。宝珠にしたためられた「南無阿弥陀仏」の文字は、一遍上人の筆と伝えられている。

レトロモダンな道後の顔を探す

道後のまちは、初めてのなになつかしい。



1 空の散歩道(足湯)

道後温泉本館の南、冠山へと続くゆるやかな展望散策道。山頂の足湯は湯のまちを眺める特等席で、夜にはロマンチックな夜景も一望のもとに。



2 第4分湯場

源泉から送られてきた温度の異なる湯をブレンドの様子が見られる。源泉に直接触れることができる手湯もあり、泉質を確認することが可能。



3 坊っちゃんカラクリ時計

道後温泉駅前の放生園にあり、定時になれば小説「坊っちゃん」の登場人物の人形が登場。ユーモラスな動きと音楽を楽しむことができる。



4 道後温泉駅舎

あたかも明治時代に旅したかのような佇まいを醸し出す駅舎。夜にはライトアップされた坊っちゃん列車が駐機し、雰囲気盛り上げている。